

# あこがれのたれ

5月 

発行責任者  
西川 晃二

【校長室より】

## 再び「愚直なる学びの徒たれ」

5月はゴールデンウィークに始まり、年度初めての定期考査、来たるべき高総体への準備という月でした。1年生にとっては高校生としての自覚、覚悟が身に付く頃です。また、2、3年生にとっても上級生としての自覚と先輩としての責任を感じる日々を過ごしていると思います。と同時に昔から言われるように「五月病」を迎える月でもあります。それまでの期待と不安の解答が見え出し始めてきて、心のバランスを崩す生徒も出始めます。日々、先生方には生徒への目線を見失わぬようお願いしてきているところです。ご家庭においてもお子様へのご指導と励ましをお願い致します。

さて、最近読んだ本で我が意を得たものがありましたので、紹介いたします。それは「下流志向～学ばない子どもたち 働かない若者たち」(内田樹 著 講談社文庫)です。長い文章でもあり、全体を読まねばわかりにくくもあるので一部改作(解説)して引用します。

去年、ある国立大学で集中講義したとき、学生から「現代思想を学ぶ意味は何ですか?」と質問された。その問いを發した学生は、もし僕(筆者)が説得ある回答したらそれを学んでも良いが、僕の答えに納得できなければ「学ばない」と宣言しているわけです。つまり、ある学術分野が学ぶに値するか否かの決定権は自分に属しているということ、問いを通じて表明しているのです。僕はこの傲慢さと無知にほとんど感動しました。20歳の学生の手持ちの価値の度量衡をもってしては計量できないものが世の中には無限に存在します。彼は喩えて言えば、愛用の30センチの「ものさし」で世の中すべてのものを測ろうとしている子どもに似ています。その「ものさし」では測れないもの、例えば重さとか光量といった意味を「ものさし」しか持たず、それだけで世界のすべてが計量できると信じている子どもにどうやって教えることができるでしょう。

「何のために勉強するのか?この知識は何の役に立つのか?」という問いを、教育者もメディアも批評性のある問いだと思ひ込んでいます。現に、子どもからそういう問いをいきなり突きつけられると、多くの人は絶句してしまふ。教師を絶句させるほどラディカルでクリティカルな問いなんだ、これはある種の知性の証なのだ子どもたちは思ひ込んでいます。そして、あらゆる機会に「それが何の役に立つんですか?」と問いかけ、満足のゆく答えが得られなければ、自信たっぷりに打ち棄ててしまふ。しかし、この切れ味の良さそのものが子どもたちの成長を妨げていることは、当の子どもたち自身には決して自覚されません。

「何のために役に立つのか?」という問いを立てる人は、ことの有用無用についてその人自身の価値観の正しさをすでに自明の前提にしています。有用であると「私」が決定したものは有用であり、無用であると「私」が決定したものは無用である。確かに歯切れはいい。では、「私」が採用している有用性の判定の正しさは誰が担保してくれるのでしょうか?その連帯保証人は「未来の私」なのです。「何の役に立つのか?」という功利的問いを下支えしているのは「自己決定・自己責任論」です。実は、それが捨て値で未来を売り払う子どもたちを大量に生み出し、「学びからの逃走」を果たしているのです。

教育の逆説は、教育から受益する人間は、自分がどのような利益を得ているかを、教育がある程度進行するまで、場合によっては教育過程が終了するまで、言うことができないということにあります。

最近の子どもたちは、わかるわからない、おもしろいおもしろくない、快不快等で物事を判断しようとする傾向が強くなります。よって、学習に対してもおもしろくなければ、そのときの自分の気分にごくわなければ放棄しようとしてしまふ。しかし、そのときの「自分」「私」が問題であり、判断基準の「自分」が実は未熟なものであるということに気づいていません。内田氏の言う「未来の自分」による担保の元のはなはだ未熟な判断なのです。よって、勢い「自分探しの旅」へ出かけようとしてしまふ。しかし、それもまた、「自分」は「探す」ものではなく「つくる」ものであるということに気づいていないと言えます。

先日TVにて、戦うところ敵なしのボクサーが語っていたことが思い出されます。彼はこう言っていました。「自分は高校時代は補欠にもなれない選手だった。弱いから自分には練習しかないのです」と。我々も「わからないから学ぶ。まだ未熟だから学ぶ」という愚直で謙虚な姿勢を持ち続けなければならないと思うところです。

## ふるさと散策 4月26日（金）

4月26日（金）に全校生徒が参加して「ふるさと散策」が行われました。この行事はクラスごとに4～6名で班を編成し、各班で助け合いながら歩くことで協調性を養い、強い体力と精神力を養成することを目的として毎年行われています。

今年のコースは香珠子海岸で、往復約21kmの距離です。天候にも恵まれ、生徒達は友達と楽しく話したり、ふるさとの自然に触れたりしながら、みんな元気に踏破しました。また、往路の五社神社や野々切のチェックポイントでは、五島高校や五島の歴史・自然に関するクイズが出題され、班員全員で一生懸命考えました。香珠子海岸に到着後はすぐ昼食をとり、その後は3年生有志による1年生を歓迎する出し物を鑑賞したり、生徒会執行部主催のミニチュアのイルカを使った宝探しに参加したりするなど、生徒全員が楽しんでいました。最後は、香珠子海岸の清掃活動を行い、復路は香田浄水場や福江ダムなど往路と違うコースを通して学校に戻りました。

事後の生徒アンケートでも95%以上の生徒が「楽しかった」と答えるなど生徒たちにとって思い出深い1日となったようです。



## スポーツコース集会 4月25日（木）

今年度のスポーツコース新入生は、男子13名、女子2名の計15名です。会の最初に、西川校長より、新たな取り組みやスポーツコースに対する期待などについて訓辞をいただき、コース生は真剣な眼差しで聞き入っていました。そして、新1年生から元気よく自己紹介があり、それぞれが目標を掲げ、今後3年間努力していきたいと力強く抱負を述べました。上級生（3年濱口沙織さん〈剣道〉・2年大川都与君〈柔道〉）からも激励の言葉があり、この集会でコース生全員が、五高生としての誇りと、スポーツコース生としての心構えが高まったものと確信しています。

## 携帯電話安全教室 4月30日（火）

LHRで、全学年対象に携帯電話教育が実施されました。NTTドコモ九州の岸久美子様・小西千津様を講師としてお招きし、『携帯電話安全教室』と題してご講演をいただきました。講話やDVD上映をとおして、携帯電話には便利な反面、個人情報（名前・住所・性別など）を書き込むと、さまざまな事件（性的被害・殺害など）に巻き込まれる危険性があることを指導していただきました。改めて、マナーを守った正しい携帯電話の使い方について理解を深める機会になりました。また、本校では、昨年度から「午後9時以降の携帯電話の使用を控えること」を推進しています。生徒の皆さんは、もう一度携帯電話の使い方をチェックしてください。

最後になりますが、携帯電話についてのリーフレットを2部いただきました。保護者の皆様もご一読いただければ幸いです。



## 遠征歌練習 21日（火）～23日（木）

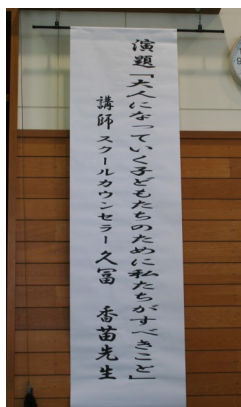


放課後に校歌・遠征歌練習を行いました。高総体期間中に学校に残る生徒たちが、壮行式で選手たちに向けて、激励の気持ちを熱い歌声で届けるために行っています。

練習には文化部の生徒と体育部の一部の生徒が参加しました。全校が3グループに分かれ、各グループのリーダーである3年生が練習をリードしながら進められました。吹奏楽部や3年生が手本を見せたり、お互いに声の大きさをチェックしたりと、各グループ工夫を凝らした練習を行っていました。3日間の練習で生徒の気持ちも1つになったようです。高総体は3年生にとって最後の試合になる部がほとんどです。海の向こうで、日頃の練習の成果を発揮し、悔いのない試合をしてきてほしいと願っています。



## 「長崎っ子の心を見つめる」教育週間（教育相談部）



5/21（火）～25（土）、「長崎っ子の心を見つめる」教育週間を実施しました。初日から授業や部活動の公開、「五高いじめ根絶標語」ポスターの掲示、第1回悩み調査の実施などに取り組みました。最終日のPTA総会の折に、臨床心理士であり、本校を含め多くの学校でスクールカウンセラーとして活躍されている久富香苗先生による講演会を開催しました。「大人になっていく子どもたちのために私たちがすべきこと」と題して、思春期前後の親子関係や、今の子どもたちにある「問題」、そしてそのような子どもたちに今から私たちがすべきことなどわかりやすく話してくださいました。出席をいただいた多くの保護者の方々からも、「大変参考になりました」という感想をいただくことができました。教育週間中は、お忙しい中保護者の皆様に多数ご来校いただきありがとうございました。

### PTA総会 5月25日（土）

5月25日（土）に午前中公開授業、午後からPTA総会、本校スクールカウンセラーの久富香苗先生による講演会、学級懇談会が行われました。当日はご多忙な中、多数の保護者の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございました。総会では、昨年度の学校の運営に関する報告を行い、今年度の事業計画について説明をいたしました。学級懇談会では、お子様に対する「思い」もお伝えすることができたのではないかとおもっております。

今後ともこのような機会を通して、教育の在り方について共通理解を図り、保護者の皆様のお力をお借りしながら、お子様の学校生活の充実に努めていきたいと存じます。また体育祭、五高祭ではバザー、夏の巡視、広報誌作成、そしてマラソン大会の豚汁の炊き出し等多くの学校行事で保護者の皆様にお世話になります。10月2日（月）には1、2学年PTA、10月10日（木）にはセンター試験100日前集会和3学年PTAを実施いたします。また、本年度は11月23日（土）には五島地区PTA研修会が本校で開催されます。多数のご出席をよろしく申し上げます。

### 進路指導部より

3月（新2年）・4月（1年）にスタディサポートを実施しました。ベネッセの模試では、得点・偏差値の他にGTZ（学習到達ゾーン）という学力指標があります。得点はテストの難易度によって、偏差値は受験者集団によって変動しますが、GTZはベネッセ独自の絶対評価となっています。7月・10月・1月の模試でGTZがどう変化したか注目してみてください。

なお、旧帝大合格レベルはS3以上、国公立大合格レベルはB1以上、公務員・公立高看合格レベルはB3以上、就職試験合格レベルはC3以上が目安となっています。スポーツコース・衛生看護科も含めて全体でDゾーン0名も目標の一つです。全校生徒挙げて目標を達成しましょう。

GTZ	ゾーンの位置づけ
S1	超難関大レベル
S2	難関大レベル
S3	
A1	
A2	超関大可能レベル
A3	国公立大・中堅私立大レベル
B1	国公立大・中堅私立大可能レベル
B2	
B3	
C1	4年制大可能レベル
C2	
C3	実力養成レベル
D1	基礎力養成レベル
D2	
D3	

### 「五高いじめ根絶標語決定」 教育相談部

今年も全校生徒に呼びかけて「五高いじめ根絶標語」を募集し、その中から今年度の標語として2作品決定しました。

5/7（火）の全校集会において、生徒会より発表してもらいました。新聞部の協力により、右のようにポスターも作成してもらって校内に掲示しています。今後も、「いじめは許さない」という一貫した姿勢で、生徒の学校生活をサポートしていきたいと考えています。

#### 標語

「人と人 尊重し合って 笑顔咲く」  
「踏みだそう 友達救う その一歩」



## メールメイトで高総体の結果を速報でお届けします。

手続きは下記のメールアドレスに空メールを送り、返信メールの示す手続きをするだけです。個人情報の取り扱いには万全の注意が払われていますので、安心してご登録ください。

**登録アドレス** [gokou-t@m-mate.com](mailto:gokou-t@m-mate.com)

### 高総体に向けて ～各部の目標と抱負～



- 陸上**                      目標    北九州大会出場！  
今年は、短距離、長距離ともに力をつけてきました。チーム一丸となって上位大会出場の切符を持って帰ります。
- 柔道**                      目標    もちろん優勝  
団体戦では毎年3位なので、今年は五高史上2度目の優勝をしたいと思います。攻めの柔道で頑張ります。
- 剣道**                      目標    優勝！  
男女ともに個人、団体で九州大会、インターハイへの出場権を獲得してきます。
- ソフトテニス男子**      目標    団体ベスト4  
僕たち男子ソフトテニス部は、20名で日々練習してきました。本番では、心を一つにして勝ちにいきます。
- ソフトテニス女子**      目標    団体戦ベスト16  
去年は2回戦敗退という悔しい結果だったのでそれを上回り、一つでも多く勝てるよう戦ってきます。
- バドミントン**            目標    ベスト4  
目標はベスト4です。1回戦が勝負どころとなります。全力で1回戦を勝ち抜き目標を達成します。
- バレーボール男子**      目標    チームが一つになり、ベスト8入りを果たす！  
県ベスト8を目標に練習してきたので部員22名が一丸となって、最後にこの目標を達成したいと思います。
- バレーボール女子**      目標    2回戦突破  
1回戦では島原商業にあたります。私たちの粘りのあるバレーを発揮して勝ちにいきます。  
目指せ！2回戦突破！
- バスケットボール男子** 目標    県ベスト4！  
県ベスト4を目標に頑張ってきました。チームのために一人ひとりが役割を果たし、最高の結果を残します。
- バスケットボール女子** 目標    ベスト8  
1回戦佐世保北、2回戦日大と対戦し、3回戦は純心です。目標を達成できるように一戦一戦を全力で戦います。
- サッカー**                目標    ベスト8  
毎年初戦敗退ですが、遠征や練習試合で力をつけ、顧問の先生にも恵まれ、今年はシード校を倒します。
- 卓球部**                    目標    男子女子 ベスト8  
男女ともに、格上の相手とあたりますが、練習してきたことを発揮して全力で相手と向き合いキセキを起こします。

**勝利は我がもの**

**GO GO 五高！**

